大臨技ニュース

〒545-0051
大阪市阿倍野区旭町1-1-28ニチマンビル
TEL.06-6647-3454　FAX.06-6644-1128
社団法人　大阪府臨床衛生検査技師会
大臨技ホームページＵＲＬ
http://www.osaka-amt.or.jp/

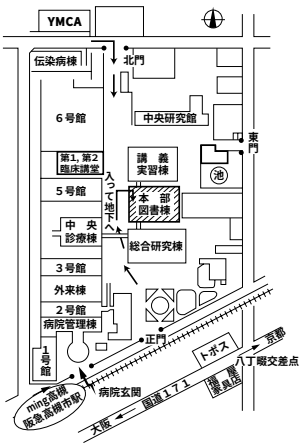
事 業 部 か ら の お 知 ら せ

第11回　北支部生涯教育自由集会のご案内

北支部恒例の ”悩める検査技師” シリーズも５回目となった。今までは、検査室が生き残るための術、例えばチーム医療や医療サービスへの参入などが討議され、各施設で検査室の必要性をアピールするための工夫をしてきた。しかし、トップダウンによりブランチやＦＭＳへの移行を余儀なくされているのが現状である。

そこで今回は、臨床への接点を求めて、個人主義へのこだわりに焦点を当て、最後の砦である自分が生き残るためには何をすべきかを討論する。病院、検査センター、企業など少しでも危機感を感じている技師は勿論、今の検査室を取り巻く情勢が 飲み込めていない技師も輪になって、皆でアイデアを絞ろうではありませんか。軽食をしながらフランクに語り合うのが北支部自由集会の恒例です。なお、他支部の方も参加歓迎します。

日　時：平成14年４月６日(土)　15：30～18：00
場　所：大阪医科大学（高槻市大学町２－７　阪急高槻市駅すぐ）
本館・図書館棟Ｂ１Ｆ学生食堂
（地図参照）貸し切り
（会場担当：東山智宣
ＴＥＬ：0726-83-1221　内線：3308
e-mail：kns012@poh.osaka-med.ac.jp）
内　容：悩める検査技師・part５
『最後の砦、自分を磨け！』
参加費：飲食代を含め 1,500円
評価点：Ｂ－10点　自由集会
（当日、生涯教育登録を行いますので
会員カードをお持ち下さい）
問い合わせ先：北支部長　相馬英一
（大阪第二警察病院
ＴＥＬ：0726-43-6921）



第10回　中央支部生涯教育講演会のお　知　ら　せ

今回は検査科の宿直、日直の検査、特に輸血検査について取り上げてみました。もし一人で日直、宿直をしていた時、血液型又は交差試験で異常反応がでたら、あなたならどう対処しますか…？

つきましては、輸血検査のトラブルシューティング及びチェックポイントについて近畿大学医学部附属病院輸血部 金光 靖 先生にご講演をお願い致しました。輸血検査の判定ミスは訴訟問題に発展する可能性が非常に高い検査でもあり、是非この機会に勉強して知識を得て頂きたいと思います。多数のご参加を宜しくお願いいたします。

日　時：平成14年４月13日（土）
15：00～17：00
場　所：大阪市立大学医学部学舎
４Ｆ　中会議室
内　容：輸血検査（血液型、交差適合試験）のチェックポイント
－輸血検査でこんな反応が起きた時
あなたならどう対処しますか？－
講　師：近畿大学医学部附属病院輸血部
係長　金光 靖
会　費：会員 500円、非会員 3,000円
評価点：Ａ－10点
問い合わせ先：中央支部支部長 西 時男
（市立枚方市民病院）
TEL：072－847－2821

第11回 南支部自由集会のご案内

４月の診療報酬改定で検体検査実施料は12.3%のダウンと病院検査室や検査センターに大きな打撃を与えることになりそうです。判断料は4.7%アップしましたが、差引き7.6ポイントのダウンとなります。微生物検査や免疫検査の大幅ダウンはブランチ・ＦＭＳ化に一層の拍車がかかるとの見方もあります。また、国立病院の独立法人化や医療職者の人材派遣に関する規制緩和はさまざまな影響を及ぼしそうです。これからの検査室、検査技師にとって何がターニングポイントになるのでしょうか。講師の先生方にはそれぞれの立場から話題提供をしていただきます。

ゴールデンウィーク初日の開催ですが、多くの会員の参加をお待ちしています。企業の方や他支部の皆様も是非ご参加下さい。

日　時：平成14年４月27日(土) 15:00～
場　所：近畿大学医学部附属病院　講堂
大阪狭山市大野東377－２
（代表電話072-366-0221）
担　当：中江（内線2183）
もしくは佐藤（内線2193）
南海高野線 金剛駅 下車、近大病院経由の南海バスあるいは泉北高速鉄道 泉ヶ丘駅下車、近大病院経由の南海バスにご乗車下さい。
広い駐車場がありますので、お車でのご来場も可能です。
一階、入退院出入口をご利用下さい。会場までの貼紙掲示します。
内　容：『診療報酬改定と検査室の動向』
－これからのあり方を討論しよう－
講　師：運天 政五郎（東住吉森本病院）
秋山 利行（近畿大医学部附属病院）
首藤 公義（大塚製薬株式会社）
評価点：自由集会Ａ－10点
（必ず会員カードをご持参下さい）
参加費：会員 500円、非会員 3,000円
問い合わせ先：南支部長　中江健市
（近畿大学病院
TEL：072-366-0221 内線：2183）

今月号から紙面を一新致しました。みなさんからのご意見、情報をお待ちしています。

「日本臨床検査技師連盟だより」から一部抜粋して転載

政府・与党「医療制度改革大綱」

政府・与党社会保障改革協議会は、昨年11月のワーキングチーム合同会議で「医療制度改革大綱」をまとめた。この大綱に沿った医療制度改革の案をまとめて今国会での成立を目指している。概要は以下のとおりである。

・医療の質と向上と効率化をはかる。
・2002年からの診療報酬改定は引下げの方向で検討する。
・2003年から政府管掌健康保険の保険料を引き上げ、必要時に７割給付で統一を図る。（患者負担３割）
・高額医療費の自己負担限度額を見直す。
・高齢者医療制度の対象を75才以上とし、70～74才の患者負担は、75才以上と同様にする。
・老人医療費について伸び率抑制のための指針を定める。

総合規制改革会議第１次答申

総合規制改革会議の宮内義彦議長（オリックス㈱代表取締役会長）は12月11日医療・福祉、金融、教育など15分野の規制改革に対する今年度最終提言「規制改革の推進に関する第１次答申」を総理に提出した。総合規制改革会議は今後、３カ年規制改革計画の実施状況や新しい規制改革を調査しながら３年間にわたり答申をまとめ、３次答申まで出す計画。これにおり医療制度の抜本的な改革も進められることになる。

答申案には、保健診療と自費診療の併用などを容認する案も含まれ、国民がこれまで公平な医療サービスを受けいれられるという「国民皆保険」制度の理念に反する答申の他、医療機関の株式会社参入では、原案から後退した「株式会社の医療機関経営の在り方を検討すべきである」としている。

・診療情報開示に関するルール、ガイドラインの整備（02年度中に措置）
・医師、医療機関に関する情報のデータベース化、ネットワーク化（01年度中に措置）
・広告規制の緩和（01年度中に措置）
・国公立、特定機能、臨床研修の各病院等について、第三者評価主体による価値の結果、内容の公開をするよう措置（02年度中に措置）
・カルテの電子化のための用語・コード・様式の標準化（03年度中に措置）
・ＥＢＭ＜科学的根拠に基づく医療＞の推進（03年度中に措置）
・診療報酬の包括払い・定額払い方式の対象医療機関の拡大（段階的に実施）
・現行制度の対象範囲を拡大し患者の選択による公的保険診療と保険外診療を併用することができるようにする（01年度中に措置）
・「205円ルール」の廃止（01年度中に措置）
・株式会社方式などを含めた医療機関の在り方を検討（01年度中に措置）

保険料徴収が総報酬制に

サラリーマンが加入する健康保険組合や政府管掌健康保険の保険料が2003年４月からボーナスからも徴収されることが決定した。これまでサラリーマンは、月々の給料から月給の8.5％を労使が折半して納めていたが「総報酬制」導入により月々の給料とボーナスを合計した「年収全体」に一定の保険料率をかけることになる。この制度導入により年収が同じでも、ボーナスで受け取る額が多いか少ないかによって負担の程度が変わることになる。厚生労働省が当初予定していた来年10月の実施時期が半年以上ずれ込んだため保険料率は8.3％から若干高くなるとの予測をしている他、各健康保険組合では、高齢者負担等の財政悪化から保険料の引き上げを予定する可能性が大きいと思われる。

社会保険病院等の見直しについて検討を開始

全国54の社会保険病院の在り方について、検討を開始する予定である。社会保険病院は、政府管掌保険の保険料で整備費が賄われていることから、今後は民間委譲も含めた検討がされることになる。民間病院と社会保険病院との賃金格差や社会保険病院の固定資産の増加が問題にされている。又、国立病院、労災病院、自治体立病院の在り方も検討が予定されている。

保健婦助産婦看護婦法（保助看法）改正案が成立

第153回臨時国会で保助看法一部改正案法律第153号が12月６日に成立し12月12日に官報（第264号）で公示された。

これまで女子には「婦」を、男子には「士」をつけていた看護婦・士を統一して「看護師」、保健婦を「保健師」、准看護婦を「准看護師」と名称変更するとともに「女子」を「者」に改めることになった。男子には適用されない助産婦も「助産師」になる。助産師には、付帯決議に「出産に関するケアを受ける者の意向が尊重されるように」との文言が盛り込まれ、男性がこの分野に参入する場合も想定している。この改正により臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律第20条の２の見出し及び同条第１項も保健師助産師看護師となった。

この運動は看護協会が91年以来運動して来たものである。

４月の行事予定

４日(木) 血液シニア
６日(土) 北支部生涯教育自由集会
11日(木) 臨床化学基礎
11日(木) 大臨技理事会
13日(土) 中央支部生涯教育講演会
12日(金) 病理細胞定期
18日(木) 血清定期微生物共催
20日(土) 病理細胞初心者講習
25日(木) 生理定期
26日(金) 一般基礎
27日(土) 微生物ジュニア
27日(土) 南支部自由集会

血清検査部会
微生物検査部会
合同定期講習会のお知らせ

学術部　血清検査部会
微生物検査部会

次のとおり定期講習会を開催しますので、万障お繰り合わせ上、ご出席くださいますようご案内申し上げます。

抗抗酸菌抗体価精密測定の定性検査として「マイコドット」が保険収載されました（平成13年７月）。本法は、検体として血清を使用するため、飛沫感染がなく安全性に優れています。また、操作が簡便で短時間（約20分間）に測定が可能です。本法は臨床症状、Ｘ線所見において結核症が疑われ、排菌陰性の活動性抗酸菌症（肺結核症）の補助診断法として有用です。今回、本法の臨床的有用性と、他の臨床検査成績との関連について、ご講演いただく予定です。

日　時：平成14年４月18日（木）
18：30〜20：00
場　所：株式会社アズウェル大阪本社
本館８階大会議室
大阪市中央区石町２丁目２番９号
地下鉄谷町線天満橋駅、京阪電車天満橋駅下車、南西へ徒歩約５分
テーマ：結核の血清学的迅速診断法
講　師：国立療養所刀根山病院
前倉 亮治
参加費：会員 500円
（大臨技・近臨技会員および賛助会員）
非会員 3.000円
評価点：Ｃ－10点
問い合わせ先：宮野 章
大阪府立母子保健総合医療センター検査科
TEL：0725-56-1220
内線：2068
中村 竜也
関西医科大学病院中央検査部
TEL：06-6992-1001

ご　連　絡

平成14年度大臨技事業計画一覧表の改定版を今月号に掲載する予定でしたが、現在のところ、大臨技ニュース158号（３月発行）に掲載しました事業予定に変更がありませんので、掲載いたしません。
４月30日発行予定の大臨技会報185号には掲載致します。

知って得する　ウェブ　サイト　Web Site

新コーナーです。はじめは広報部スタッフのブックマークを中心に、オススメサイトをご紹介します。会員の皆さんもぜひ情報をお寄せください。

科学論文データベースから文献を高速にダウンロード「Pubmedia」
http://plaza27.mbn.or.jp/~dmsoftmcsoft/software/pubmedia/pubguide.htm

Pubmediaは "PubMed" に自動接続し、キーワードで検索した文献を高速にキーワード別にダウンロードします。検索結果はオフラインで閲覧・検索が可能となるスグレモノ。以前はフリーソフトでしたが、現在はシェアウエアです。

論文作成の英養素
http://www.biwa.ne.jp/~fumika/eiyou.htm

科学英語論文を作成するために参考となるサイトのリンク集。論文作成に関することから科学誌や法律・留学に関することなど、幅広い情報が得られます。

価格kakaku.com
http://www.kakaku.com/

コンピュータや周辺機器などをインターネット・ショッピングするときの価格調査の強い味方になりますよ。

「世界医学検査デー」について

「世界医学検査デー」は1996年６月にノルウェーで開催されたＬＡＭＬＴ（国際医学検査協会）代議員会で、臨床検査の専門職である臨床検査技師の役割と臨床検査の重要性をより広く各国の国民に紹介したいとの希望からその設定が承認されました。平成14年度の我が国の「世界医学検査デー」推進事業は主に近畿臨床衛生検査技師会が担当します。そこで、具体的な活動についてご紹介します。

1.「世界医学検査デー」啓蒙啓発活動

①朝日新聞大阪府内版全７段広告
大阪府内版全７段（80万部）に技師会の告知広告。
平成14年４月11日（木）〜13日（土）のいずれかの朝刊に掲載されます。

②朝日新聞突き出し広告
近畿および中国四国北陸通し版の突き出し広告（240万部）のかたちで技師会の広告が、平成14年４月14日（日）または４月15日（月）に掲載されます。

③「Webフォーラム」の開催
「Webフォーラム」を４月15日から５月末日（予定）まで下記のドメイン名で公開します。（http://www.igakukensa.com）

④「市民フォーラム」の開催
５月10日（金）神戸朝日ホール、５月12日（日）大阪メルパルクホールにて、いずれも14時から「糖尿病の検査と予防・治療の最新セミナー」のテーマで、当会とダイナボットが共催して市民フォーラムを開催します。

2.「Webフォーラム」のアンケートに協力を！

「Webフォーラム」では、一般国民を対象とした臨床検査技師に対するアンケートを企画しています。この集計結果は国会議員や厚生労働省等へ届ける予定です。是非とも、会員の皆様から、一人でも多くの国民にフォーラムの中のアンケートにお答え下さるよう広報お願い致します。

検査関連学会スケジュール

５月15日(水)〜17日(金)	第51回 日本医学検査学会（仙台市）
７月30日(火)〜８月３日(土)	第25回 IAMLT学会総会（米国、フロリダ）
10月26日(土)・27日(日)	第42回 近畿医学検査学会（和歌山）
11月21日(木)〜24日(日)	第49回 臨床検査医学会（グランキューブ大阪）

気になるギモンにお答えします！ Q&A

Q 臍帯血の検査について

臍帯血の検査に血液一般検査と凝固検査の依頼がでます。凝固検査には凝固５項目とATIIIがあります。この凝固検査について臨床的意義を教えて下さい。

よろしくおねがいします。（匿名）

A 臍帯血は新生児の性状を示すと考えられます。

臍帯血の止血検査については、新生児の凝固能を反映していると考えられます。私どもで行った臍帯血の凝固能の検討では、

ＰＴ	84±22	%
ａＰＴＴ	57±24	sec
Ｆｂｇ	135±53	mg/dl
ＨＰＴ	45±12	%
ＡＴIII	51±9	%
Ｐｌｇ	47±8	%

という成績でした。おおよそ成人の50%程度の凝固活性を示します。新生児血に関しても同様の活性を示すと考えて良いでしょう。

ただし、これは正期正産児の場合です。未熟児の場合はこれよりも低値を示します。胎盤に炎症がある場合は、Ｆｂｇが若干高値を示します。

周産期における止血機能については、胎生11週頃から末梢血中に血小板、凝固因子、線溶因子が出現しはじめ、それ以後急速に増加するといわれています。Ｖ－Ｋ依存因子は出生時まで低値が続き、臍帯血あるいは生下時でやや低い程度ですが、生後２～３日で著しく低くなり、新生児メレナはこの状態が強調された場合に起こるものとされています。これらの因子が成人値に達するのに３～６ヵ月必要になります。

Ｆｂｇは胎生５週頃から、第ＸIII因子は15週頃より産生され始めます。 第Ｖ因子は胎生12～15週で成人域に達し、第ＶIII因子も比較的速やかに成人値に達するようです。線溶能は出生まで上昇しつづけ、臍帯血では亢進している場合もあるようです。

臍帯血は新生児に比し、検体採取が容易であり、検体量も多く採取が出来ます。それゆえに、採血の困難な新生児血ではなく、臍帯血を提出するのではないでしょうか。また、輸血用に臍帯血を保存する場合もあるようです。

しかし、臍帯血の採取方法によりＨｔ値が変動するようです。検体凝固も多いので注意を要します。

（大阪府立母子保健総合医療センター　今吉雄三）

－大臨技ホームページより－

事務局から

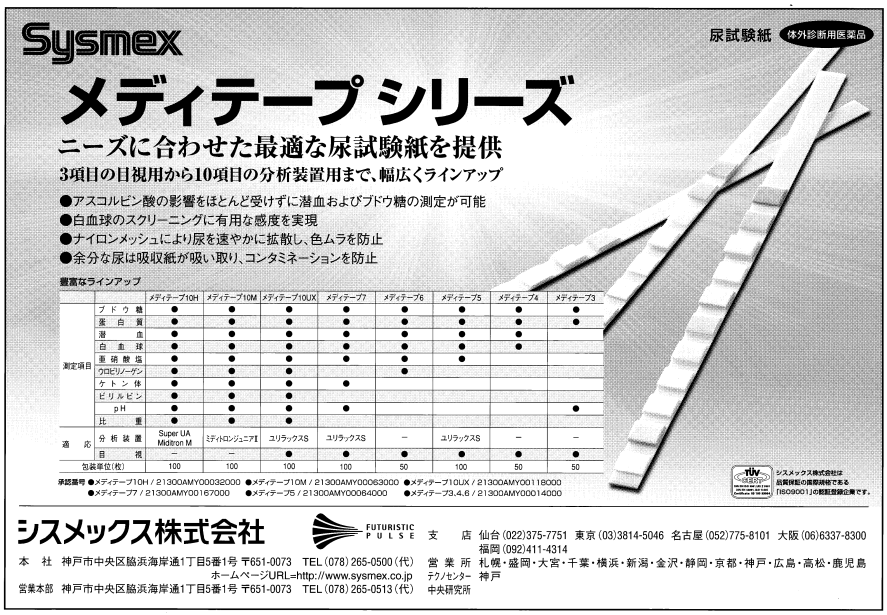
1．平成14年度会費納入が未納の方は，できる限り早い時期に納入してください。
　詳細は**大臨技ニュース156号（１月）、157号（２月）**をご覧ください。

2．会員の「継続」、「入会」、「異動」などの届出は、日臨技ホームページのJAMTIS、または所定用紙の郵送でお願いします。**TEL、FAXでの届出はご遠慮ください。**
　なお、JAMTISによる届出方法に関する詳細、所定の郵送用届出用紙の綴じ込みは、**会誌「医学検査2002年１月号Vol.51、NO.1」**に掲載されています。

☞ 広報部より

今月号から、大臨技ニュースは見た目も内容も新しくなりました。これからも会員の皆さんに役立つ情報をお伝えできるよう、広報部員一同、決意も新たに紙面作りに取り組んでいきたいと思っています。

桜咲く４月、様々な意味で人生の転機を迎えられる方も少なくはないのでしょうか。そういう年に目にする「桜」は印象深く残るのか、引き付けられる様に見上げてしまうような気がします。　　（山田　真規子）



皆さんのご意見、情報等お待ちしております。

FAX：06-6644-1128　E-mail：imai@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務所までご送付下さい。